

## その4 「タイ環境学習キャンプ」

## 8.18~27(9泊10日)

2012 タイツアーは、これまで交渉を進めてきた中込ミさんが行けず、どうしようと思っている中、実施しました。

7名の参加者。初日夜のドリアンパーティー(ラジャバト大学チナッタ先生の差し入れ)。ドリアン好きな私にとって、一番タイを感じる時でした。

翌日からは、バンコクを離れ、ウタイタニー、バンライのパンダキャンプ。シリポンさん始め、友人が出迎えてくれました。

世界遺産のファイカーケン野生動物保護区。ここで、なんと、孔雀と、バンテーン(野生の牛)を見ることができました(今まで、足跡と羽根を見ただけだったのです)。

恒例のワークショップは、アイヌ民族について中込メが話しました。10年近く北海道二風谷の貝澤さんはじめとするアイヌの人たちに学んだことを話しました。近隣の少数民族のラオウエン、カリアンが集まって来て、後半、いろいろ楽しい話し合いになりました。

た。その日の夜には、ラオウエンの伝統的な踊りを見せていただきました。いろいろ踊り等の交流があり、日本側は阿波踊りを披露しました。

パンダキャンプでのフォークミュージックの夕べには、旧友のクルーポーさんも来てくれ、更に、3箇所の自然保全を行っている団体のメンバーが来てくれ夜更けまで交流しました。その中にはファイカーケンの所長さんまで、おいで下さり、無礼講で、楽しみました。「ファイカーケンの職員たちには、広くいろいろな見聞をさせたい。日本にも行かせたい。」とおっしゃっていました。

バンコクでは、TJクラブ、ラダワン先生、スリワット先生、チナッタ先生、昨秋日本に来た大学院の人たちと楽しい交流を持ってました。若林さん、ポンティープさん(今回大学院の卒業式にも参加させていただきました。)いつもありがとうございます。2013年をまた考えています。

(代表理事 中込卓男)



ミズオオトカゲ



バンテーン



サイチョウのお面?

日 時	活動	場所
8/18(土)	成田集合 成田→バンコク DL283 (デルタ航空) 23:00 バンコク スワンナプーム国際空港着 両替	プラナコン グランド ビュー ホテル泊
8/19(日)	バンコク→ウタイタニー、バンライ 10:30AM ホテル発 (バンで移動) 途中、 ショッピングモールで買い物、百年市場で船に乗り、寺院等を見学。	パンダキャンプ泊
8/20(月)	ワークショップ 「ローカルな知恵と文化の交流」アイヌ民族の知恵について中 込メが発表、少数民族ラオ族、カレン族、他教員が集まった。 夜、ラオエンのカルチャーショー。阿波踊りを披露した。	バンライ、パンダキャンプ泊
8/21(火)	ファイカーケン <u>(HKK)</u> 野生生物保護区 (世界遺産) へ出発	HKK 泊
8/22(水)	HKK バードウォッチング ネイチャートレイル 孔雀・バンテーン (野生の 牛) が見られた。 夜 コウモリ観察 (ランサック)	HKK 泊
8/23(木)	バードウォッチング後、バンライへ 木曜市場、タイマッサージ ミュージックコンサート (夜) HKK (所長さんもいらした) はじめ近隣の自然 保護団体が集った。夜更けまで交流。	パンダキャンプ泊
8/24(金)	ラオウェンの織物見学、プーワイ洞窟。コーウォン寺院見学。 夜、地元の学生による音楽パフォーマンス	パンダキャンプ泊
8/25(土)	バンコクへ 9:00AM 出発午後 ショッピング 夜、ポンチップさんの大学院卒業セレモニーに参加	バンコク ホテル泊
8/26(日)	プラナコーン・ラジャバト大学環境教育センター、T J クラブで、ラダワン先生、 シリワット先生、院生たちに案内されコークレット島、ワットアルン寺院ほかバ ンコク市内観光。 タイスキの夕食会	バンコク ホテル泊
8/27(月)	バンコク→成田 ホテル発 <u>1:00AM</u> DL284 05:40 バンコク発 14:20 成 田着 成田解散	成田

### 『タイ スタディツアーを終えて』

東京コミュニケーションアート専門学校 (TCA)

花井 美穂さん

空港で待ち合わせをしていたのですが、私が今回のメンバーの顔合わせに参加できなかったこと、今回初の海外旅行でとても緊張していました。

初日、ホテルに着いてからとても疲れてすぐ眠ってしまったりと、今考えればとてももったいないことをしたなと思います…。

私たちの学校では、野生動物保護という特殊な専攻で学んでいるため、タイのファイカーケン野生生物保護区でのレンジャーさん達のお話を聞いたことは大変貴重な体験でした。ファイカーケンでは主にトラの保護をしているそうなのですが、定点カメラでの映像を見て、野生のトラを (映像ですが) 見られるとは思っていなかったのもとても興奮しました!

その他にも、野生動物の痕跡、日本では見られないような

色とりどりの鳥たち、植物、昆虫など目に新しいものばかりで写真のメモリーいっぱい撮って大切に保存してあります。

タイに行って、一番心配だったのがご飯だったのですが、おいしくて何度もおかわりをしてしまうくらいでした。辛いものが苦手だったのですがちゃんと日本人仕様になってくれていて安心しました。パンダキャンプでのご飯が一番おいしかったです。

今回行った季節は、沢山の果物が旬を迎える頃だということで、あるものほぼ全て食べてきました。ドリアンのあんな大きな塊にかぶりついて食べるのはこれから先無いのではないかと思います。果物の中でもマンゴスチンは一番おいしくて、皆で夜のデザートに食べました。

中込さんを始め、神尾さん、田中さん、現地で落ち合った若林さん、porntip さん、西田さんや同じ TCA の学生 2 人に色々とフォローしていただき、だんだんと慣れてきて楽しい旅になりました。機会があれば、また参加したいと思います。ありがとうございました。



### 『タイ環境学習キャンプの感想』

東京コミュニケーションアート専門学校 (TCA)

山添 裕太さん

今回のタイキャンプの感想としては「満足」の一言に尽きる旅行だったと思います。私は普段、東京都にある動物系の専門学校のなかにある「野生動物保護」という専攻に所属しています。その専攻では、将来レンジャーや、インタープリター、動物園で絶滅しかけている動物を繁殖させたいなどの様々な目標を持つ人たちが勉強しています。今回のタイキャンプも、学校の先生の紹介で知り、応募しました。

僕の今回の目標は野鳥がもともと好きなのでタイの野鳥を観察すること、タイの環境保護の実際の現場を見ること、そしてタイの食事や文化などに積極的にチャレンジすることなどを目標としました。結果としてその目標全てを達成することが出来たと思います。

タイの野鳥はとても色鮮やかで青や、黄色、赤など日本では

まず見られない色合いの鳥たちをじっくりと観察することができました。

他にも日本人ではこのツアーの人たちしか訪れていない「ファイカーケン国立公園」でも、滅多に見ることの出来ない赤色の野生のウシである「バンテーン」やジャッカルのいう少しキツネに似た動物、野生のクジャクなどの野生動物たちを生で見る事が出来て、とても感動しました。そしてファイカーケンのレンジャーの方たちから密猟の問題や環境教育でどのようなことを教えているのかなどを知ることが出来ました。

タイの食事に関してはバンコクの大学内の食堂などでは、現地人使用のためか辛いものもありましたが、数日間、お世話になった「パンダキャンプ」の食事は辛くないどころかとても美味しく、毎食 2 人前以上は食べたと思います。

他にも、マンゴスチンやドリアンなどの美味しいトロピカルフルーツをたくさん食べました。タイの食事はとても自分に合っていたと思います。

タイの部族である「ラオヴィエン」の人たちの踊りや遊び、伝統的な織物を作っている作業場、活気あふれる市場など、タイの文化にもほんの少しではありますが触れることが出来て、とてもいい経験になりました。

今回のタイキャンプは充実したとてもいい研修旅行となりました。この経験はこれからの自分の人生においてとても貴重な経験になると思います。是非、タイミングが合えば、また次回も参加したいと思っています。